

第24回（令和4年度） 技術発表会事例応募要綱

技術発表会事例の応募は、下記要綱に従う。

1. 目的

各会員企業の技術・施工力について、コスト縮減、工期短縮などの技術提案、新技術・工法の開発等の観点から選定し、優れた工事实績を、県民をはじめ公共工事発注機関等に周知するとともに、各会員企業の技術力、施工力の向上を図り、より質の高い建設活動の展開に寄与することを目的とする。

2. 日時

令和4年10月18日（火）

午後1時から概ね午後5時まで

3. 開催場所

RaiBoC Hall（市民会館おおみや） 小ホール

埼玉県さいたま市大宮区大門町2-118

4. 事例の募集対象

一般社団法人埼玉県建設業協会 会員企業（ただし、県内企業に限定する。）

5. 事例の募集期間

令和4年4月1日（金）から

令和4年5月31日（火）まで

6. 対象工事等

(1) 工事発注者

発注者は限定しない。

(2) 対象となる工事等

- ① 公共・民間発注の全ての工事を対象とする。規模の大小は問わない。また、改修（リフォーム）工事も対象とする。
- ② 前年度において、県・国より優秀建設工事で表彰された工事も対象とする。
- ③ 過去に当発表会に応募した事例は対象外とする。

(3) 施工場所

県内外を問わない。

(4) 工事受注方式

県内会員企業の単独受注した場合、または県内会員企業同士、あるいは県内非会員企業とのJV方式に限定する

(5) 工事完成年度

限定しないが、なるべく直近の工事とする。

7. 工事事例の応募について

(1) 一会員が応募する事例数は制限しないものとし、既に社内外で発表済みのものでも差し支えないものとする。

(2) 最終的に事例集として製本するため、要領を遵守して原稿を作成すること。

(3) 原稿の作成にあたっては、**A4用紙4枚以内(図面・写真込み)にて作成**すること。なお、規定枚数を超える事例は、審査対象外とする。

(4) **原稿を作成する際に使用する様式は、必ず現在当協会ホームページに掲載されている様式をダウンロードして使用する。**

ダウンロード・応募可能な様式は、「ワード・エクセル・一太郎」形式となる。ダウンロードページ、及びパスワードは以下のとおり。

当協会ホームページ : <http://www.sk.or.jp/>

(当協会トップページ→「技術発表会」→「会員専用ページ」)

(5) 提出する原稿は以下とする。

①作成した事例 ②技術発表会送付状

(6) 事例の提出方法は、送付または電子メール添付とする。

①記録メディア (CD-R 等) の送付

データを保存した記録メディアを事務局まで送付する。送付先住所は以下。なお、送付中に記録メディアが破損しないよう、梱包に留意すること。

〒336-8515 埼玉県さいたま市南区鹿手袋 4-1-7 建産連会館 2 階
一般社団法人 埼玉県建設業協会 技術委員会庶務 宛
TEL 048-861-5111

②電子メールによる送付

提出書類のデータ(①作成した事例 ②技術発表会送付状)を電子メール添付して送付する。送付先およびメール件名は以下とする。

送付先電子メールアドレス ggthpki@sk.or.jp

電子メール件名 『技術発表会事例送付/〇〇建設』

メール送付の場合、事務局担当が送付元に対し、確認の返信を行っている。送付後に返信がない場合は、事務局までお問い合わせ願いたい。

※ ファイルを圧縮して送付する場合は、「lzh」か「zip」形式とする。

(7) 審査の結果、発表事例に選出された場合、後日、技術委員会庶務より担当者まで連絡する。
リハーサルについても、併せて通知する。

8. 事例様式詳細について

(1) 様式内の体裁は以下とする。

- ①フォント : MS明朝
- ②文字サイズ : **11pt**
- ③字間・行数等 : 様式の指定に従うこと
- ④余白 : 様式の指定に従うこと
- ⑤文体 : 『**常体(である調)**』で記載

なお、これらについて変更は認めない。

(2) 必須記入項目は以下とする。

- ①テーマ : テーマ名を記入する。
- ②会社名 : 会社名を記入する。ここでの標記は、「株式会社」等を略さない。
- ③所在地 : 本社の所在地を記入する。
例) さいたま市南区鹿手袋4-1-7
- ④分野 : 該当する項目の前の口を■にする。「その他」の場合は、カッコ内に分野を記載する。
- ⑤作成者 : 作成者を記入する。
- ⑥工事名 : 工事名を記入する。
- ⑦発注者 : 発注者名を記入する。例) 埼玉県、川口市、〇×株式会社等
- ⑧受注形態 : 該当する項目の前の口を■にする。
なお、JVの場合は、括弧内に記載する。
例) 埼玉・浦和JV等
- ⑨工期 : 開始年月及び完了年月(日は省略)を記入する。
- ⑩施工場所 : 工事施工の場所を記入する。
例) さいたま市南区鹿手袋4-1-7
- ⑪カテゴリー : 別記「カテゴリー一覧表」より、該当するカテゴリーを選び(複数選択可)、下段にカッコ書きにて、内容の簡単な説明を付記する。
- ⑫工事概要 : 工事の概要を記入する(事例記入例参照)。
例) 下水道工事(土木)の場合
路線延長・管径・施工法・人孔設置・立杭工・地盤改良工・付帯工等を記入。
例) 建築物築造(建築)の場合
用途・構造・規模・建築面積・延床面積等を記入。
- ⑬工事内容

※記載方法詳細については、前述ホームページ内の『事例記入例』を参考にすること。

(3) 事例作成上の注意点

①事例の修正について

事例集作成の前に、技術委員会により、事例の手直し（主に語句や体裁の修正）を行う。語句等の修正がありうる点、ご了承ください。

なお、後日作成者に連絡し、修正をお願いする場合がありますので、ご協力願いたい。

②写真・図表等について

写真・図表は、事例中にデータ貼り付けとする。写真等はカラーを用いること。

③文章作成で注意することについて

文面に「出来る」「為」「有った」「成る」「又」等を頻用する事例が目立つが、非常に読みづらいので、使用せずひらがな表記とする（事例記入例参考）。**また、半角カタカナ・縮小した文字は使用しないこと。**

事例中に使用する単位・記号については、正規の記号を用いること（m³等は禁止）。

また、文章作成にあたっては、事例集として頒布公開する点を意識し、簡潔明瞭で読みやすい文章に仕上げること。

9. 応募のあった事例について

①事例集作成・配布

応募のあった事例については、発表の有無を問わず、技術委員会により必要に応じて適宜修正を行い、最終的に『技術発表会事例集』として、会場にて配布する。

また、前年度において、県・国で優秀建設工事事例として表彰された事例についても、上記事例集に掲載し紹介する。

②工事写真の送付

事例審査後に、事例送付いただいた担当者に、事例に関する「工事写真」のデータ提出をお願いしている。提出日等は、後日担当者に連絡する。

10. お問い合わせ

技術発表会全般に係る問い合わせ先は以下のとおり。

一般社団法人 埼玉県建設業協会

技術委員会庶務 森・大島

電話 : 048-861-5111

FAX : 048-861-5376

E-mail : ggthpki@skk.or.jp

http: //www. skk. or. jp/